



湯布院町

庄内町

挾間町

洪水 ハザード マップ

自分の命は自分で守る行動を!!

湯布院町

庄内町

挾間町

この冊子は、水害に対する危険度を知っていただくとともに、災害時の避難を行うために必要な情報を提供するものです。常日頃から安全に避難できるように、避難場所や危険箇所などを家族や地域で確認しておきましょう。

情報伝達経路



市から提供される避難情報について

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 ^{※1} ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔市町村が発令〕
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ^{※2} ※2 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔市町村が発令〕
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔市町村が発令〕
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

防災情報の収集先

●●● ▲▲▲

行政機関の ホームページ	大分県	http://www.pref.oita.jp/
	由布市	http://www.city.yufu.oita.jp/
	国土交通省 大分河川国道事務所	http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/
	気象庁 大分地方気象台	https://www.jma-net.go.jp/oita/
河川の水位等の 情報	大分県 雨量・水位観測情報	http://river.pref.oita.jp/
	国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp/
防災に関する 情報	国土交通省 防災情報提供センター	http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/
	気象庁 防災情報	http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html
	大分県 安全安心情報	http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/
	大分県 土砂災害情報インターネット提供システム	http://sabo.pref.oita.jp/dosya/
	大分県 土砂災害危険箇所情報 インターネット提供システム	http://sabo.pref.oita.jp/bousai_s/dosya_map/
	海上保安庁 大分海上保安部	http://www.kaiho.mlit.go.jp/O7kanku/oita/

インターネットで
検索しよう!

非常時持出品

貴重品類	現金、10円玉	☐	救急用具	三角巾、包帯	☐	生活用品など	ビニールシート	☐
	預金通帳	☐		脱脂綿	☐		ヒモ、ガムテープ	☐
	カード類	☐		ばんそうこう	☐		ティッシュ	☐
	健康保険証	☐		風邪薬、胃腸薬	☐		裁縫道具	☐
	免許証	☐		常備薬	☐		洗面用具	☐
	証書類	☐	非常食料・食器	乾パン、缶詰等	☐	その他	生理用品	☐
	印鑑	☐		ミネラルウォーター	☐		赤ちゃん用品	☐
	家や車のキー	☐		組食器、缶ざり等	☐		筆記用具	☐
避難用具	携帯ラジオ	☐	衣類	下着類	☐		住所録のコピー	☐
	懐中電灯、ろうそく	☐		防寒着	☐		お薬手帳	☐
	予備電池	☐		雨ガッパ	☐			☐
	ヘルメット	☐	生活用品など	タオル、ハンカチ	☐			☐
救急用具	消毒液	☐		万能ナイフ	☐			☐
	傷薬	☐		マッチ、ライター	☐			☐
	湿布薬	☐		滑り止め付軍手	☐			☐



■わが家の防災メモ

わが家の避難所	
非常時の家族の集合場所	

家族の名前	電話番号	学校・勤務先などの連絡先	保険証番号

■由布市指定避難所一覧

湯布院町		川西小学校	0977-84-2329	直山公民館	
施設名	電話番号	川西農村交流センター	0977-84-5022	旧阿蘇野小学校	
塚原小学校体育館	0977-85-4141	幸野公民館		庄内総合運動公園	097-582-1111
温湯区公民館	0977-84-3908	湯平地区公民館(旧湯平小)	0977-86-2232	挾間町	
湯布院中央児童公園		湯平農民研修センター		施設名	電話番号
佐土原公民館		庄内町		挾間小学校	097-583-0029
並柳公民館	0977-85-4363	施設名	電話番号	由布市役所挾間庁舎	097-583-1111
若杉公民館		阿南小学校	097-582-0209	はさま未来館	097-583-1118
乙丸公民館	0977-84-4656	阿南幼稚園	097-582-1757	挾間体育センター	097-583-2881
乙丸温泉館	0977-84-3573	由布支援学校	097-582-0326	挾間中学校	097-583-0017
由布院小学校	0977-84-2031	庄内公民館	097-582-0214	時松農事集会所	
湯布院健康温泉館	0977-84-4881	おおつる交流センター		中恵自治公民館	
由布市湯布院公民館	0977-84-2604	東庄内小学校	097-582-0241	谷小学校	097-583-0079
荒木公民館		庄内体育センター	097-582-1111	朴木農事集会所	
湯布院B&G海洋センター	0977-84-2133	由布高等学校	097-582-0244	旧朴木小学校	
石光集会所		庄内屋内競技場	097-582-1111	赤野自治公民館	
湯布院中学校	0977-84-2026	龍原自治公民館		丸田公民館	
湯布院福祉センター	0977-84-3610	庄内中学校	097-582-0014	石城小学校	097-583-0772
東石松3集会所		庄内ゆうゆう館	097-582-0214	来鉢自治公民館	
西石松公民館	0977-85-2865	西庄内小学校	097-582-0017	旧石城西部小学校	
山崎公民館	0977-85-3815	西庄内幼稚園	097-582-3040	南田代ふれあいホール	
中依集会所	0977-84-4108	旧星南小学校		詰公民館	
下依集会所	0977-85-3868	由布市役所本庁舎	097-582-1111	由布川地域交流センター	097-583-4241
奥江農民研修センター		旧南庄内小学校		由布川小学校	097-583-0751

緊急連絡先

緊急 警察

110

火事・救助・救急車

消防

119

海の事件・事故

118

		施設名	所在地	電話番号
市役所		由布市役所 本庁舎	由布市庄内町柿原302番地	097-582-1111
		由布市役所 挾間庁舎	由布市挾間町向原128番地1	097-583-1111
		由布市役所 湯布院庁舎	由布市湯布院町川上3738番地1	0977-84-3111
消防		由布市消防本部	由布市挾間町挾間278	097-583-1500
		由布市消防署 庄内出張所	由布市庄内町柿原306番地1	097-582-0119
		由布市消防署 湯布院出張所	由布市湯布院町川上3066-1	0977-85-2355
警察		大分南警察署	大分市大字横瀬2212番地1	097-542-2131
		大分南警察署 挾間警察官駐在所	由布市挾間町向原332-1	097-583-0200
		大分南警察署 石城川警察官駐在所	由布市挾間町来鉢20-1	097-583-3270
		大分南警察署 庄内警察官駐在所	由布市庄内町東長宝432-3	097-582-0310
		大分南警察署 庄内西警察官駐在所	由布市庄内町庄内原841-5	097-582-0380
		大分南警察署 湯布院幹部交番	由布市湯布院町川上3499-1	0977-84-2131
ライフライン	電気	九州電力 大分営業所	大分市金池町二丁目3番4号	0120-986-504
		九州電力 別府営業所	別府市餅ヶ浜町4番33号	0120-986-503
		九州電力 日田営業所	日田市玉川町586番地1	0120-986-502
	水道	由布市水道課	本庁舎新館2階	097-582-1328
	電話	NTT西日本 大分支店	大分市長浜町3-15-7	一般電話：局番なしの「113」 ひかり電話・携帯電話・PHS： 0120-444113
	ガス※			

※ライフラインの「ガス」に関する連絡先は、各ご家庭で利用されているガス会社の連絡先をご記入下さい。

災害用伝言ダイヤルを活用する

NTT西日本 災害用伝言ダイヤルの利用方法の例

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

※災害時、公衆電話は優先的に通話できます。



忘れてイナイ(171)? 災害伝言 171などと覚えてください。「171」をダイヤルするとガイダンスが流れます。利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生をしてください。(※平常時には利用できません)

また、NTT西日本では、「災害用伝言ダイヤル」に加え、伝言情報(テキスト)の登録・閲覧を可能とする「災害用伝言板(web171)」も提供しています。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、被災地内の方がインターネットを経由して伝言板サイトにアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報(テキスト)の登録が可能なサービスです。登録された伝言情報は、電話番号をキーとしてその他の地域の人々から閲覧、追加伝言登録が可能となります。

詳しい利用方法などについては、お使いの電話会社におたずねください。

NTT西日本 災害用伝言ダイヤル(171)	http://www.ntt-west.co.jp/dengon/
NTTdocomo 災害用伝言板	https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/
au 災害用伝言板サービス	https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/
SoftBank 災害用伝言板／災害用音声お届けサービス	https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/

防災の心得

事前の心構え

安全な避難路の確認を



避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

避難訓練への参加



避難訓練が開催される時には積極的に参加しましょう。

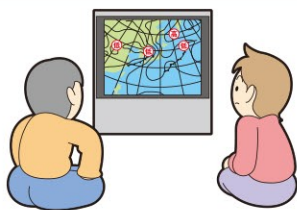
非常食料の備蓄



食料等は、最低でも家族の3日分程度を備蓄しておきましょう。

避難時の心得

正確な情報収集と自主的な避難を



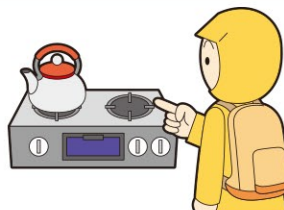
ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

避難をする前に



避難をする前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難をする旨を連絡しておきましょう。

速やかに避難しましょう



避難勧告などは、危険が迫ったときに出示されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。

車での避難は控えて



車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

避難場所では



避難場所では、市職員や消防団員などの指示に従ってください。洪水の状況に関して、ラジオ・テレビ・市からの情報などを伝達しますので、落ち着いて行動してください。

もし逃げ遅れたら



万が一危険が迫ったときは、近くの頑丈な建物2階以上に避難しましょう。緊急時の場合は、皆さんで助けあいましょう。

援助が必要な人がいたら…

お年寄りや病気の人



急を要するときは、ひもなどで背負い、安全な場所へ避難しましょう。

目の不自由な人



まず声を掛けましょう。誘導するときは、杖を持った方の手には触れず、肘のあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。

耳の不自由な人



近くまでよって相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。また、紙とペンで筆談しましょう。

身体の不自由な人



それぞれの人に適した誘導方法を確認し、恐怖感を与えないように配慮しましょう。

知っておきたいこと

雨の降り方の程度

 やや強い雨 1時間に10～20mmの雨 地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	 強い雨 1時間に20～30mmの雨 土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川なら氾濫、また、崖崩れの心配もあります。	 激しい雨 1時間に30～50mmの雨 バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	 非常に激しい雨 1時間に50～80mm未満の雨 滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。	 猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。車の運転は非常に危険です。
---	--	---	--	---

台風の大きさ、強さの階級分け

■台風の大きさ

※気象庁による

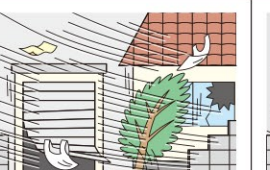
階 級	風速15m/s以上の半径
大 型 (大 き い)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

■台風の強さ

※気象庁による

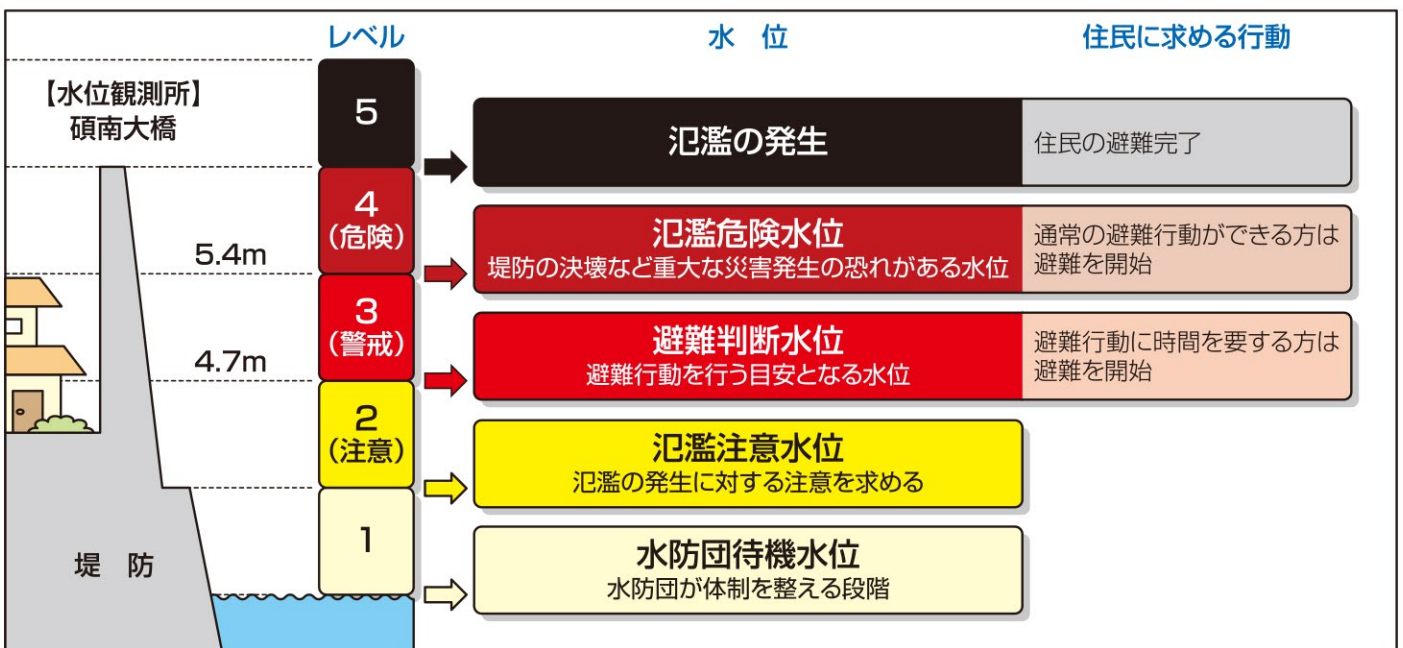
分 類	最大風速 ^{注1)} (m/s)
台 風	17.2m/s～32.7m/s未満
強 い 台 風	32.7m/s～43.7m/s未満
非 常 に 強 い 台 風	43.7m/s～54.0m/s未満
猛 烈 な 台 風	54.0m/s以上

注1)最大風速とは10分間による平均風速の最大値

 風速^{注2)} 10m/s～ 風に向かって歩きにくくなります。	 風速15m/s～ ビニールハウスなどが壊れ始めます。	 風速20m/s～ シャッターが壊れ始め、風で飛ばされたもので窓ガラスが割れたりします。	 風速25m/s～ ブロック塀がこわれたりします。	 風速30m/s～ 屋根が飛ばされたり、木造住宅が全壊することもあります。
--	--	---	---	--

注2)風速とは10分間の平均風速

河川の水位に応じた危険度レベル



■河川の水位情報はインターネットから入手することができます。
大分県 雨量・水位観測情報…<http://river.pref.oita.jp/>

避難時の注意事項

避難情報が出たら早めに避難を!!

- 市からの避難情報が発令されたら速やかに避難しましょう。
- テレビやラジオ、インターネット等で避難情報を収集し、早めに避難をはじめましょう。



- 歩ける水の深さはひざの高さまでです。流れが速いと20センチの深さでも危険です。また、冠水した道路は大変危険ですので、早めの避難を心掛けましょう。



道路が冠水する前に避難しましょう。

家の周りが浸水し、指定避難所など外への避難に危険を感じたら、**今いる建物の2階以上へ**



やむをえず冠水した中を避難する場合



- 水面下では、側溝や水路・道路の段差やマンホールなど危険が潜んでいます。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。

ここは気を付けて。



- はぐれないようにロープを掴むなどして避難しましょう。特に子供から目を離さないように注意しましょう。

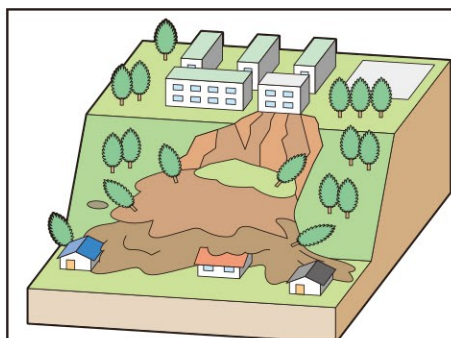
- 裸足・長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴が動きやすいです。

長靴は禁物! 運動靴を!



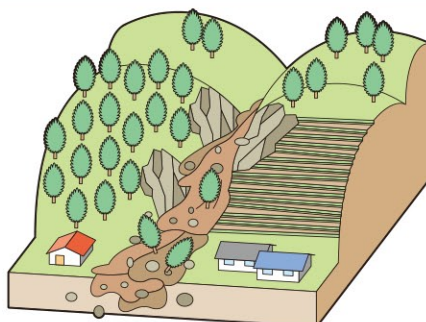
道路が冠水してからの避難は大変危険です。このような状態になる前に避難しましょう。

避難時の土砂災害に注意



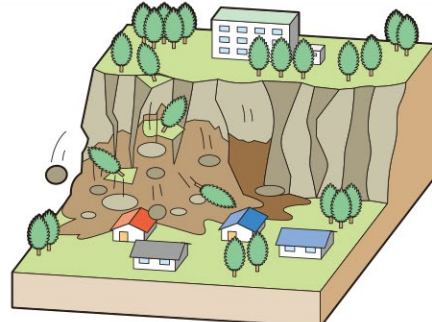
地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 井戸や沢の水がにごる。
- がけや斜面から水が噴き出す。



土石流

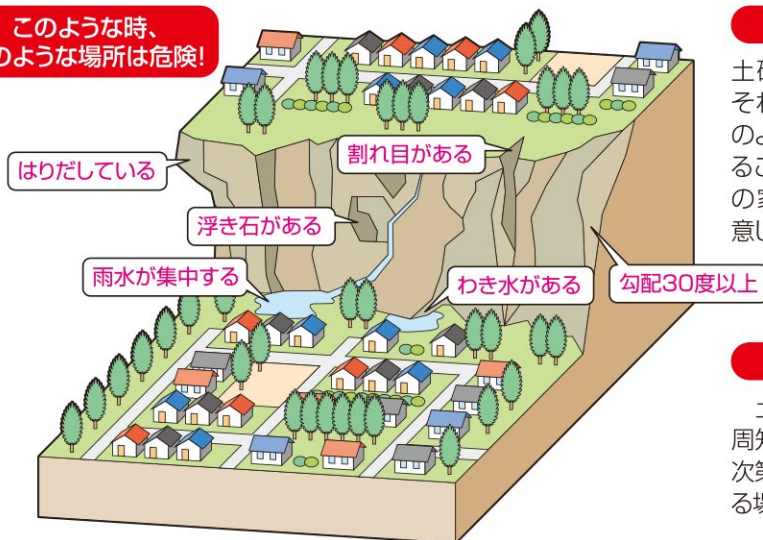
- 山鳴りがする。
- 雨が降りつづくのに川の水位が下がる。
- 川がにごったり、流木が流れる。



がけ崩れ

- がけからの水がにごる。
- がけに亀裂が入る。
- 小石が落ちてくる。
- がけから音がする。

このような時、このような場所は危険!



このような看板は要注意!

土砂災害が発生するおそれのある区域内に、このような看板が立っていることがあります。自分の家の近くにないか注意して見ておきましょう。

急傾斜地崩壊危険区域



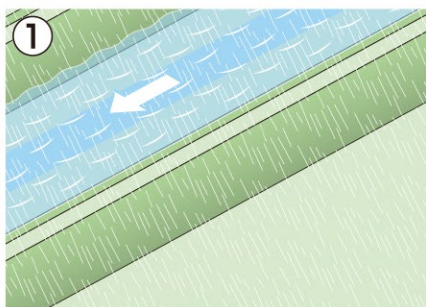
上記の区域内で行為をしようとする場合は、知事の許可が必要です。

土砂災害に関する情報

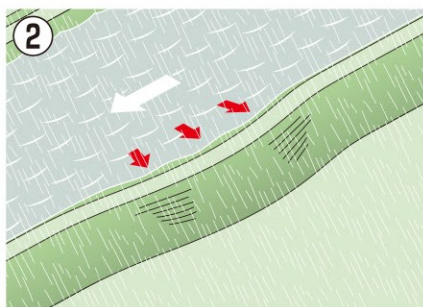
土砂災害警戒区域がある自治体の各ご家庭に「土砂災害周知避難マップ」を配布しています。(今後も区域が指定され次第、随時配布します。)ご自宅の周りの土砂災害の恐れがある場所を事前に確認しておきましょう。

洪水はどうして起こるの？

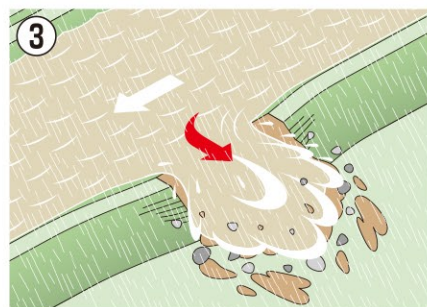
河川氾濫の起こるしくみ



① 大雨によって、河川の水の量が増え、水位が上がり始めます。



② 堤防いっぱいまで水位があがると、土でできた堤防に水の圧力がかかり始めます。



③ 水位があがり、水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れはじめます。

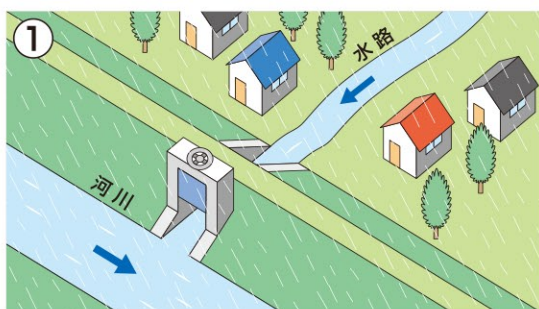


④ 堤防の崩れた場所を勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。

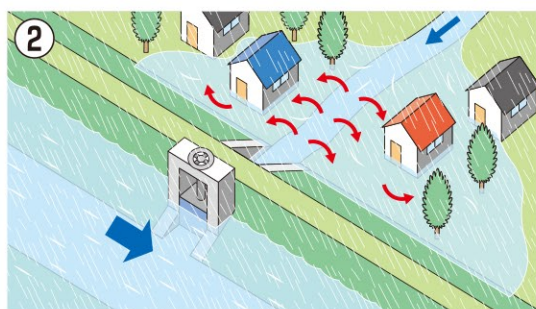


⑤ 堤防から流れ出した水は、場所によっては家を壊したり、流したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。水が氾濫してくるとすぐ浸水深が深くなり、歩行が困難になります。
このようになる前に避難しましょう。

内水氾濫の起こるしくみ



① 街などに降った雨は、水路、下水道などを流れて河川に排水されます。



② 大雨が降ると河川の水位が上がり、河川へ排水されずに小さな川や下水道などが溢れて氾濫します。
川の近くにお住まいの方は注意しましょう。

その他の要因による氾濫



その他にも大雨が降ったとき、道路の側溝がつまったり、道路の低くなっているところに水がたまったりしても氾濫は起こります。また、立体交差により低くなっている道路（アンダーパス）の浸水にも注意しましょう。

